



JSTだより vol.5

JST支援者限定配信！

現在、カンボジアの公立学校の始業は11月1日、終了は8月31日ですが、11月1日になっても新学期が始まらない学校も多く、7月中旬に行われる期末試験が終わったらすぐに長期休暇に入る学校がほとんどです。そのような中、バイヨン中学校では11月1日には始業し、8月31日まで授業や学校の活動を行なっています。それだけではなく、9月1日から10月31日までの長期休暇中にも様々な行事や活動が行われています。そこで今回のJSTだよりは、**バイヨン中学校の長期休暇** を特集しました！

校長の想い

バイヨン中学校では、9/1~10/31までの2ヶ月間が長期休暇となります。バイヨン中学校の生徒の多くは、休日でもよく学校に遊びにきています。学校に来るならば、遊ぶだけではなく勉強もしてほしいと思い、**様々な活動**を企画しました。

特に、この時期は家の手伝いも少ない時期となり、町の不良少年に誘われて**麻薬**などに手を染めてしまう生徒もいます。現在、カンボジアの農村部でもこの問題が大きくなりつつあり、バイヨン中学校ではこの問題を未然に防ぎたいと考えました。

各教科の先生方の協力も必要でした。休暇中にも関わらず、生徒のために学校に来る先生たちの姿は、カンボジアの公立学校や2,3年前のバイヨン中学校では考えられないことです。今年の長期休暇は、昨年も行っていた**補習授業**・**学校清掃**のほか、

研修旅行と**特別授業**も加わり、生徒たちにとって**充実した**休暇になったと思います。



バイヨン中学校長期休暇のアクティビティ2018

8/31	バタンバン研修旅行
9/3-9/8	電気技術教室
9/8-9/30	文化財教室
9/19	オンライン授業実験
10/1-10/30	校舎掃除
10/15	全校集会
10/15-10/21	ルー校長日本訪問

補習授業1
・日時：月曜日~土曜日 14:00~16:00
・教科：数学・国語・英語
・月謝：無料
・対象：新3年生
・教師：バイヨン中学校教師

新3年生出席必須

補習授業2
・日時：日曜日AM
・教科：数学・国語
・月謝：5\$/教科
・対象：新3年生
・教師：バイヨン中学校教師

発展的な内容

補習授業3
・日時：土曜日AM 日曜日AM
・教科：数学・国語・PC
・月謝：無料
・対象：新2,3年生
・教師：新3年生,卒業生

生徒から生徒へ

総勢
約250名

研修旅行 in バッターバン



詳細

- ・参加費：\$8/人
- ・参加者：在校生, 卒業生, 保護者, 教員 etc
- ・参加人数：約250名
- ・バス：5台



タイムスケジュール

- 5:40 バイヨン中学校集合
- 6:00 出発
- 8:00 朝食
- 8:30 バッターバン 到着
 - ・バッターバン 博物館
 - ・葡萄畑
 - ・バナナ遺跡 昼食
 - ・サンボー山
- 16:00 バッターバン 出発
- 18:30 バイヨン中学校到着



ル一校長

今回の研修旅行には、当初考えていた5倍の人数の参加がありました。アンコール王朝の後の時代の歴史があまり残っていないカンボジアでは、建物が歴史を語ります。バッターバン州は、フランスの植民地になる前から栄えていた街で、現在も植民地時代の建物が多く残されています。バイヨン中学校に来ている生徒やその保護者は、自分の村やシエムリアップの街から出たことのない人が多く、皆、とても楽しんでいました。説明をしたり、誘導をしたりと忙しかったですが、生徒たちが真剣に学び、楽しんでいるところを見てとても嬉しかったです。次の長期休暇でも実施したいと考えています。

こんにちは。生徒代表のパニです。

バッターバン州は、カンボジアで2番目に大きな街で、とても有名です。シエムリアップにはない寺院や山のお話を知りたくて参加しました。一番印象に残っているのは、サンボー山のとても綺麗な景色です。記念写真をたくさん撮りました。バッターバン博物館もとてもよかったです。古い建物が博物館になっていて、伝統的な楽器や、内戦の時の銃などが展示されていました。この研修旅行に参加したみんなと協力したり、ご飯を食べたりして、仲良くなることができて、とても楽しかったです。来年も研修旅行に参加して、行ったことのない山や寺院に行ってみたいです。



3年生 パニ



スレイクム先生

私は、バイヨン中学校で国語を担当しています。バッターバン州で生まれ、シエムリアップに住んでいます。親戚がいることもあり、バッターバンには何回も行ったことがありますが、生徒たちと旅行をしたり、授業以外でたくさん関わりたいと思い、今回の研修旅行に参加しました。研修旅行は、1日だけだったので、全てを短い時間で見学しなければならず、もう少し時間があれば良いのと思いました。また、サンボー山には猿がたくさんいます。生徒たちは、猿が好きですが、危ないので注意したり生徒たちの面倒を見るのが大変でした。バッターバン州について説明したり、生徒たちと話したり、バスの中で歌ったりとても楽しい思い出がたくさん出来たのでよかったです。これからも生徒たちと色々なところに行きたいです。

私は、バイヨン中学校の裏の売店で働いています。小学6年生の娘と小学3年生の息子がいます。小学校を卒業したら、バイヨン中学校に通わせる予定です。今回の研修旅行で初めてバッターバン州を訪れました。私は、サンボー山と葡萄畑を見たいと思い参加しました。サンボー山までの山登りとバナナ遺跡まで急な階段はとても疲れましたが、景色がとても綺麗でした。葡萄畑は木に花が咲いているところで、実がなっていなかったので残念でした。しかし、近くにとても綺麗なワインの工房があり、この工房を見ることができたのでよかったです。大人で旅行に行くのが楽しいので、また次の研修旅行にも参加したいと思います。そして自分の村以外の景色を見てみたいです。



保護者 カン

僕は、今高校1年生で、空港の近くの高校に通っています。バッターバンに行くのは今回の研修旅行で2回目です。3年前に行った時とどう変わっているのかを自分の目で見たかったので、研修旅行に参加しました。僕が前に訪れたときに比べ、新しい建物が増えていました。バスの中で先生方がマイクを使って遺跡や山について説明をしてくれたので、知識が増えたと思います。バッターバン の土は、シエムリアップの土とは違い、黒かったことも印象に残っています。一番印象に残っている活動は、バナナ遺跡です。バナナ遺跡は、とても長い階段の先にあり、その階段を友達や先生と話しながら登ったり、記念写真を撮ったりしたことがとても楽しかったです。



卒業生 マット

電気技術教室

- ・ 日程：9/3~9/8
- ・ 場所：バイヨン中学校
- ・ 指導者：国立アンコール総合技術専門学校
- ・ 参加人数：約60名

2017年5月、バイヨン中学校周辺に電気が通るようになりました。また、カンボジアは、2030年までに無電化地域の縮小を目指しています。これに伴い、電気に関する仕事が増加し、また知識も必要になってくると考えられます。

この特別授業は、生徒たちの新たな夢の発見、彼らの職業につながります。中学生の間に専門的な知識や技術を身につけることにより、高校に通いながらも仕事をし、大学に行く資金を貯めることもできるなど、将来の選択肢が増えると校長は考えています。



2年生 ホーム 電気の実験が自信に繋がる

私の家には、2017年に電気が通りました。自分の家や近所の家の電気が停電になった時、壊れた時に修理ができるようになりたいと思ってこの授業に参加しました。私は女の子なので、男の子たちよりも上手く実験ができないかもしれないと、男の子より先に実験することがとても不安でした。しかし、実験を成功させることができたので、男の子にも負けたくないことが分かり、自分の自信に繋がったし、とても嬉しかったです。これからも通常授業では勉強できないことを色々勉強してみたいです。



2年生 ピアップ 夢は電気の専門家

僕の家にも、これまでは電気がありませんでした。2017年に入って電気が通るようになりました。自分の家の電気の使い方を学びたかったので、この特別授業に参加しました。授業をしてくれた先生方は、冗談が上手で、難しいことも楽しく勉強することができました。ランプを交換・修理する方法、導線を修理する方法などたくさんのことを教えてくれました。僕は、この授業に参加したときは1年生だったので、専門学校で勉強する生徒には選ばれませんでした。これから電気をもっと勉強して電気の専門家になりたいです。



授業に参加した3年生の生徒の中から優秀な生徒10人が選出され、中学卒業後、国立アンコール総合技術専門学校で2年間無料で勉強できることになりました!



文化財教室

- ・ 日程：9/8~9/30 計11回
- ・ 場所：バイヨン中学校, アンコール遺跡群
- ・ 指導者：青年文化財センター
- ・ 参加人数：約60名

カンボジアには多くの文化財があり、観光業は国を支える主要産業の一つとなっています。しかし、バイヨン中学校の生徒たちを含め、カンボジアの子供達が遺跡や寺院などの文化財に訪れる機会は多くありません。今回の文化財教室では、世界遺産について、また文化財を学ぶ上で重要な神話・物語、伝説などの授業が行われました。その後、バプーオン寺院やバイヨン寺院、アンコールワットなど7つの遺跡を見学。彼らにとって授業、遺跡見学はとても良い機会だったと思います。



3年生 ノン 文化財についてもっと勉強したい

私の村は遺跡の近くにありますが、遺跡や文化財についてほとんど知識がありません。この授業を通して文化財について知りたいと思い、参加しました。この授業では、学校で勉強するだけではなく、みんなで遺跡の見学にも行きました。とても楽しい授業で、先生が神話や伝説など色々な話をしてくれました。見学の中で一番印象に残っているのは、アンコールワットです。アンコールワットの外回廊の彫刻には、この授業で勉強してきたことや歴史の授業で勉強したことが描かれていました。実際に自分の目で見ることでとても良かったです。これからも文化財について勉強したいです。



バイヨン中学校ルー校長を含むシエムリアップ州教育使節団がNPO法人オアシスの招へいで日本を訪れ、様々な教育現場を視察しました。何度か日本を訪問しているルー校長ですが、今回の日本訪問について校長先生の感想をお聞きました。



日本に行って感じたこと

日本はとても発展している国だと改めて感じました。一番印象に残っているのは、ゴミが道端に落ちていないことです。カンボジアは道路にたくさんのゴミが落ちていて、臭いもします。また、日本人は、大人だけではなく、学生も時間を守っているという点が素晴らしいと思います。バイヨン中学校でも時間を守ることやゴミをポイ捨てしないこと、学校を綺麗に保つ事を大切にしていきたいと思っています。



やっぱりカンボジアのここが良い

日本人は、相手や周りのことを考えすぎていると思います。カンボジア人は、みんなで協力することや仲良くすることが大好きで、それほど周りの目を気にしません。それがカンボジアのいいところだと思います。また、日本は、忙しい生活で、あまり時間がないように思えました。カンボジアは、時間を守らないが、時間があるので、みんなが集まりやすいです。お互いに手伝い、助け合う気持ちが強いのはカンボジアだと思います。



これからのバイヨン中学校

日本の学校の先生は、一生懸命に授業をしていました。バイヨン中学校の先生の多くは、私がいなければ、ゆっくり授業をしたり、のんびりしたりして一生懸命に授業をしません。バイヨン中学校の先生も日本の先生のように、一生懸命授業をする先生になってほしいと思います。そして、心から生徒に教えたいという気持ちになってもらうために指導していきたいです。



シエムリアップ州と市の教育長、州教員養成校校長らと

今年度のバイヨン中学校

バイヨン中学校は **6年目**を迎えました。今年度の入学者数は **207人**、全校生徒の数は **516人**にもなりました。しかし、この生徒数に対し、教員数は**13人**です。特に数学、物理・科学の先生が不足しており、1人ずつしかいません。

バイヨン中学校生徒数(2018-2019年度)

学年	クラス数	女子(人)	男子(人)	計(人)
1	4	98	109	207
2	4	84	89	173
3	3	81	55	136
計	11	263	253	516



今年度も運動会と文化祭が開催されることが決定しました!



運動会
2019年
1月20日(日)

文化祭
2019年
5月5日(日)

参加大歓迎!

